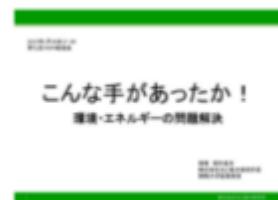
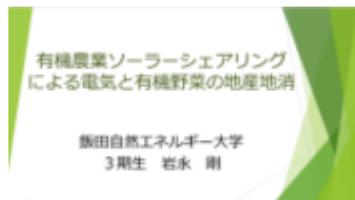


●REPA オンライン勉強会【第7回】（2022-2-6）

1月28日（土）14:00からSkypeによるREPAオンライン勉強会を開催しました。

第1部は青森在住のREPA会員である岩永剛様より『有機農業ソーラーシェアリングによる電気と有機野菜の地産地消』と題し、昨年飯田自然エネルギー大学での講座を受講され、その研究課題として纏められたソーラーシェアリングの展望、事業モデルについて解説頂いた。メリットの多いソーラーシェアリングであるが、普及が中々進まない現状の問題点などを皆で共有することができました。第2部では当協会理事の堀内道夫様より、「こんな手があったか！」と題した元気の出る話題を提供頂き、今後日本が環境・エネルギーの分野で世界のリーダーシップをとれるであろう技術の解説がありました。

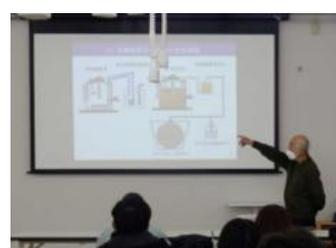


勉強会の資料及び動画は会員専用HP【[情報交換室](#)】ページよりご覧頂けます。

●バイオガスマイスター研修講座 中級講座（第2回）装置技術研修コース開催（2023-2-15）

2月14日（火）に埼玉県宮代町日本工業大学スチューデントラボにてバイオガスマイスター研修講座「第2回 中級研修講座 B:装置技術研修コース」が開催されました。前回制作した200Lメタン発酵槽、加温装置、脱硫装置などを日工大内田研究室横の屋外パレット2個分のスペース上に設置、組み立てを行い、コントロールパネルなどの電気関係接続後、メタン発酵菌（種菌）の投入として蛭田農園に設置したメタン発酵装置から採取した消化液約100Lの投入を行いました。今後このメタン発酵装置に食品残渣などを投入し、次週発生バイオガスの分析をおこなう予定です。

その後、スチューデントラボにて装置組み立ての説明、設置運転上の注意点などの講義を行いました。



詳細は[宮代町プロジェクト](#)参照ください。

●都市型バイオガス発電所(西東京リサイクルセンター)見学(2023-2-20)

日本工業大学のSDGs研修、内田研究室再エネ研修ならびに、バイオガスマイスター研修講座の一環として、2月17日午後、西東京リサイクルセンター(東京都羽村市)のバイオガス発電設備の見学を行いました。同設備は2020年に操業開始し、食品工場等での廃棄物、スーパー・コンビニ等での賞味期限切れ食材等の産廃が投入され、設備容量168トンの中温発酵メタン発酵バイオガス化設備でガス化され、発生ガス(メタン約60%)は、550kW×2台のガスエンジン発電設備でFIT運用されています。排出者へはリサイクル報告書を作成し、この設備でどのくらいCO₂が削減されたかを報告しています。REPAが推進している小規模のメタン発酵装置と原理は同じですが、大容量で実運用されており大変勉強になりました。

(株)西東京リサイクルセンター URL:<https://nrc.tokyo.jp/plant/>



メタン発酵槽



植田代表取締役からの施設概要説明 ガスエンジン発電設備(550kW×2)



脱硫装置(左)と排水処理装置(中央)

前処理棟前での集合写真